

# 初秋の浪岡城跡 植物観察会



青森市森林博物館

指定管理者 青森県森林組合連合会

# 初秋の浪岡城跡植物観察会

日時：平成 29 年 9 月 9 日（土）

10：00 ～ 14：00

場所：浪岡城跡（青森市浪岡）

## ☆ 講師の紹介

古川 勝也 氏 青森森林インストラクター会

## ☆ スタッフ

佐々木 英典 森林博物館 専門員

藤川 のり子 森林博物館 専門員

## ☆ 行 程

9：50 浪岡城跡案内所前集合

10：00 観察会スタート

12：00 昼食

14：00 案内所着・解散

## 浪岡城跡で見られる植物

- 1 種を蒔いてから花が咲き、実がなるまでに13年くらいかかる“ナナカマド”
- 2 ヤマモミジより葉や実が小さく、実の翼が水平に開く“イロハモミジ”
- 3 枝ごと実を風に飛ばす“ケヤキ”
- 4 阿蘇の草原の牛も食べ残す、クラクラするほど苦い“クララ”
- 5 シナノザサと違い、葉裏に毛がない“チマキザサ”
- 6 拳（こぶし）の形の実を付ける“コブシ” 花にらせん状に付く雄しべの痕跡も
- 7 あまり見かけない“ニワウルシ”の雌木
- 8 年を取って大きくなり、丸い葉しか付けない“ヤマグワ”
- 9 「巨樹・巨木林データベース」で太さが全国で10番目くらいの木に相当する“ソメイヨシノ”
- 10 “イチイ”の下からアスパラガスが出てきたかと勘違いするほど茎が太い“シオデ”
- 11 2年かけて成熟する松ぼっくりを3年分付けた“クロマツ” 葉の寿命もわかる
- 12 長枝で陣地を拡大し、短枝で光合成を稼ぐ“カラマツ”
- 13 茜色の染料として用いられた“アカネ”の根の色
- 14 はびこることで名高い“カナムグラ”と“カキドオシ”のせめぎ合い
- 15 刺の無い“トゲナシニセアカシア”？
- 16 “イタドリ”の養分を吸い取る“ネナシカズラ”
- 17 種子から開花まで10年かかり、花を咲かせたら死んでしまう“オオウバユリ”
- 18 アリに種を遠くへ運んでもらう“クサノオウ”
- 19 花茎の下から上へ、雌しべと雄しべを順に時間差を置いて出し、性の機能を使い分けている“オオバコ”
- 20 60年前の男の子はみんな”アズマネザサ”？で竹鉄炮を作り、”ヒョウタンボク”の実を飛ばして遊んでいた



2017.9.2 下見時の植物



クララ：マメ科



キタコブシ：モクレン科



ニワウルシ：ニガキ科 雌木



ニワウルシの種 (別名シンジュ)



シオデ：シオデ科



クサノオウ：ケシ科